

はじめに 英語勉強で挫折してきたあなたへ

ここ数年、ビジネスシーンにおける英語の重要性はますます増えています。これから先、英語の需要は増えることこそあれ、減ることはないでしょう。これからのビジネス社会では、「英語はできて当たり前」という風潮がますます強くなっていくに違いありません。

このような状況の下、英語力を測定するための基準として、TOEICを採用する企業が増えてきました。そして、このような企業の多くは、TOEICのスコアを昇進の際の判断材料として利用しています。

そのため、昇進の機会が近づくと、慌ててTOEICの勉強をし始めるビジネスマンの方が多数います。しかし、そのような方の多くは、目標の点数を取ることにないまま、勉強をあきらめてしまいます。

なぜ多くの方がこのような結果に終わってしまうのでしょうか？ それは、TOEICの勉強がつまらないからです。より正確に言えば、TOEICの勉強をしても、知的好奇心を感じられないからです。

TOEICは、あくまで英語でのビジネスコミュニケーションの能力を測定するための試験であって、ビジネスに関する知識や常識を問う試験ではありません。そのため、これらの要因が点数に影響を与えないよう、TOEICでは天気予報・保証書・求人広告といったニュートラルな文章が出題されます。その結果、TOEICに使われる文章は、どうしても無味乾燥なものにならざるを得ません。ですから、どれだけ勉強しても知的好奇心が得られないのです。

しかし、中学生や高校生ならともかく、大人の場合、知的好奇心を感じずにとただ義務だけで勉強を続けるのには限度があります。多くの人は、「いくらテストのためとはいえ、できれば内容に興味を感じながら勉強したい」と思っているのではないのでしょうか？

この本は、そう考えているサッカー好きのあなたのためにつくりました。この本では、登場する例文が全てサッカーに関連しています。そのため、サッカー好きのあなたであれば、常に内容に興味を持ちつつ勉強することができます。

また、例文の内容も、日本代表の歴史やサッカーの試合の解説に始まり、日韓共催の裏側やクラブ経営の状況など、多岐に及んでいます。ですから、この本を利用すれば、ビジネスシーンで必要とされる基礎的な語彙を身につけることができます。

そして、本書の発行元クロスメディア・パブリッシングのサイト (<http://www.cm-publishing.co.jp/eigo/>) から音声をダウンロードすることで、リーディングだけでなく、リスニングも勉強することができます。

ガーナ戦の後、オシム監督は日本の選手を評して、「日本の選手はプレッシャーのないところではアイデアを実行できる。大事なのはプレッシャーの中で実行できるか」だと語っていました。TOEICでも、時間というプレッシャーのある中で、英語力を発揮できるかどうかが問われます。1.5倍速でプレッシャーになれることで、世界に通用する英語力の基礎を身につけましょう。

また、サッカーの例文を利用して、TOEICに頻出の文法を学習するコーナーもあります。このコーナーを利用して読解力をつければ、サッカー関連のサイトもすらすら読めるようになります。

この本を利用して、知的好奇心を感じながら、TOEIC600点に相当する英語力を身につけましょう！